

〈ネジバナ〉

ネジバナが目立つようになった。淡いピンク色の花は、小さいけれどその形状故にその気になればすぐに見つかる。きれいに刈り込まれた芝生の中や、背丈の低い草の中にスツと顔を出してゆらゆら揺れている。ラン科の花でよく見ればとっても可愛いのだが、なにしろ足元で踏んづけられてしまうほどの背丈なので、気づかない人もいる。その名の通りらせん状にクルクル回りながら花が咲いている面白い植物だ。たまたま見つけた2株は、右巻きと左巻きになっていて集団お見合いをしているようだった。



ではなぜこんな風にねじれて咲くのか？自分なりに仮説を立ててみた。

- ① いろんな方向に咲くことでバランスが保たれ、倒れにくくするため。
- ② ねじれながら四方に向けて咲くことで、どの方角からでも虫に気づいてもらえるようにするため。
- ③ 一つ一つは小さいが、ねじれることで花を大きく見せるため。
- ④ ねじれることでしなるようになり、多少の強風にも耐えられるようにするため。
- ⑤ 人や動物に踏まれても、ねじれていればどこかの花が残り、結果タネが散布できるため。どうかな？